

## ふりむかないで 一奈良県・大和高田市一

かぜ あさ たかだかわ  
風ひかる朝 高田川ぞいに  
こい あし せんぼんざくら  
恋の足どり 千本桜  
ばんりよくやまとじ みろく て  
万緑大和路 弥勒の手のひら  
まつ ばやし はすわら ふね  
祭り囃子の 蓮咲う舟

しずか ぜん ま  
静御前の 舞いのなごみを  
もみじ あさ むし ね  
紅葉の朝へ 虫の音がし  
かんすばる い ふたり てぶくろ  
寒昂行く 二人の手袋  
かぜ いこ  
風のふれあい 憩うさざんか

わか な あさ  
とどく若菜よ えびすの朝を  
やさ えがお  
いのちの優しさ よりそう笑顔  
のぐち うじょう はつたび かぜ  
野口雨情も 初旅の風  
つなぐぬくもり たかだ ひと  
つなぐぬくもり 高田の人

## ふりむかないで 一奈良県・大和郡山市一

つついじゆんけい ひでながこう  
筒井順慶 秀長公に  
おも てんしゆ だい  
思いをはせて 天守の台へ  
ほり はた いちりん はな  
お堀の端に 一輪の花  
れきしおもかけ じょうか まち  
歴史面影 城下の町

みなも すがた  
水面いろどる かわいい姿  
ひと  
人にやすらぎ いやしのときを  
すくいあげれば こころときめく  
い きんぎよ まち  
また行きたいな 金魚の町

や た きゅうりょう しもつみち  
矢田の丘陵 下ツ道ゆく  
にし ひがし かがや ひとみ  
西に東に 輝く瞳  
ひ び いとな あせ えがお  
日々の営み 汗する笑顔  
かた つ げん きじょうか まち  
語り継ぎたい 元気城下町

ふりむかないで 一奈良県・天理市一

イチョウ並木に ちらつく実りが  
あなたの足を いそがせるのか  
黄色の道が 気にかかるのか  
みとれてしまうなあ 天理の秋

スポーツ盛んの 学生の町で  
すれ違って 目と目があつた  
普段姿の メダリストたち  
声かけできるさ 天理のまち

売れているのか 儲かっているのか  
あちらこちらの 無人販売所  
旬のめぐみが 疲れを癒す  
また行きたいな 山の辺の道

ふりむかないで 一奈良県・橿原市一

ここで日本が はじまったのよと  
むぎわらぼうしの あの娘は言った  
はずかしがりやの 二人もきつと  
橿原 木漏れ日 神宮の人

はじめて都が 生まれたとき  
古代の人は まほろばを観た  
ひっこみじあんの 二人もいつか  
橿原 たまゆら 藤原京の人

江戸の面影 そのまま残し  
気高い生きかた 受け継いだ街  
想いをめぐらす 二人だけれど  
橿原 えにし 今井町の人

大和三山 いにしえの里  
恋の行くえを 占うところ  
想いを馳せる 二人が出逢う  
橿原 愛しい 香具山の人

## ふりむかないで 一奈良県・五條市一

ごじょう  
五條にきたなら 行ってください  
しんまちとお すてき  
新町通りの 素敵なまちを  
い ごじょう まち  
みんなで行きたい 五條の町を  
とお かんこう ひと  
通りすぎないで 観光の人

あ の う ばいりん はな  
賀名生の梅林 ちらつく花びら  
あしもと さ ふくじゅそう  
あなたの足元 咲いてる福寿草  
あき かき みの  
秋になったら 柿が実る  
た ごじょう かき  
食べてほしいな 五條の柿

まつ み あ ほしぞら  
たなばた祭りで 見上げた星空  
まんてん ひろ ほし はな  
満天に広がる 星の花  
しぜん のこ やさしさも残る  
い みや たき  
行ってほしいな 宮の滝

## ふりむかないで 一奈良県・御所市一

と き べにあかあざ  
季節うららかに 紅赤鮮やか  
やまはだ そ み その  
山肌染める 御園のツツジ  
こがね こうげん  
黄金になびく 高原のススキ  
こ ふたた かつらぎ やま  
あの娘と再び 葛城の山

よい ごせ い な ほ ともしび  
宵の御所まち 稲穂の灯  
みや た ひと な なか  
宮に立ちゆく 人並みの中  
なつよ はなび ゆかた すがた  
夏夜花火で 浴衣の姿が  
う き き こ  
浮かんで消える 気になるあの娘

あさや こ かつらぎ ふもと  
朝焼け焦がす 葛城の麓  
ひとこと かみ せん みほとけ  
一言の神 千の御仏  
ごこくみの きよみず めぐ  
五穀実らす 清水の恵み  
ゆうきゆう れきし かみがみ さと  
悠久の歴史 神々の里

## ふりむかないで 一奈良県・葛城市一

はる ぼたん ころも  
春の牡丹を 衣にまとい  
うしろ姿の <sup>すがた</sup> すてきなあなた  
つれてゆきたい <sup>たいま たら</sup> 當麻の寺へ  
ふりむかないで <sup>ちゅうじょう ひめ</sup> 中将の姫

な わら  
泣いているのか 笑っているのか  
<sup>ちからじまん やさ ひと</sup>  
力自慢の 優しい人よ  
<sup>すがた りり おのこ</sup>  
まわし姿の 凛々しい男  
<sup>だ たいま けはや</sup>  
抱きしめたいな 當麻の蹶速

にほん いさん ふるきかいどう  
日本の遺産 古き街道  
<sup>あるく たびびと</sup>  
ゆっくり歩く 旅人ひとり  
<sup>にんじょうゆたか むすめ み つ め</sup>  
人情豊かな 娘を見つめ  
<sup>て まつおばしろう</sup>  
手をとりたいな 松尾芭蕉

## ふりむかないで 一奈良県・宇陀市一

やまと ひんがし きみ こきょう  
大和は東 君が故郷は  
<sup>みやましずまる かみよ こうげん</sup>  
深山鎮まる 神代の高原  
<sup>たにま なつ ういす</sup>  
谷間のすずらん 夏の鶯  
<sup>おもいおこす うだ あでびと</sup>  
思い起こすは 宇陀の艶人

きみ うだふるかいどう  
君をもとめて 宇陀古街道  
<sup>ちよ たびびと いきかっ た</sup>  
千代の旅人 行き交ったみち  
<sup>そでふれあう びと</sup>  
袖触れ合うは いにしえ人か  
<sup>ひびくかね ね</sup>  
かへりみすれば 響く鐘の音

つや うだこい  
かえで艶めく 宇陀恋しぐれ  
<sup>ちぎり さくら きみ</sup>  
契りの桜で 君がたたずむ  
<sup>えがお はるかぜ</sup>  
ほころぶ笑顔が 春風にとけて  
<sup>うだ</sup>  
ここはふるさと うるわしの宇陀

## ふりむかないで 一奈良県・平群町一

にし し ぎ さん なるかわ せん こうじ  
西に信貴山 鳴川千光寺  
たつた かわべ さくら ほたる  
竜田の川辺 桜に蛍  
し き たの さと  
四季を楽しむ まほろばの里  
みどりゆた へぐり  
緑豊かな いいとこ平群

くにしの よ  
ヤマトタケルが 国偲び詠んだ  
れきしゆた さと  
歴史豊かな くまがしの里  
しま さ こん まつながひさひで  
嶋左近 松永久秀  
せんごくろ まん へぐり  
戦国ロマン あふれる平群

こぎく ばら はな  
いちごにぶどう 小菊にバラの花  
やま ぽっけ はぐ  
山のポッケに 育まれ  
みの ゆた うるわ さと  
実り豊かな 麗しき里  
いちど へぐり  
一度はおいで いいとこ平群

## ふりむかないで 一奈良県・三郷町一

かんべいたいしや ふうかくただよ  
官幣大社の 風格漂う  
まなつ よ さく ふうちんはなび  
真夏の夜に咲く 風鎮花火  
あき たいさい たいこ ひびく  
秋の大祭 太鼓が響く  
ふうじん たつたたいしや  
風神さまだよ 龍田大社

し ぎ さん さんどう しゆいろ ぶりっじ  
信貴山参道 朱色のブリッジ  
かんちればー めずら はし  
カンチレバーの 珍しい橋  
きんだい いさん ぶんかざい  
近代遺産の 文化財  
ばんじー かいうんばし  
バンジーできるよ 開運橋

れきし ぶんか か お まち  
歴史と文化の 薫るこの町  
し き か ん し ぜん ふうけい  
四季を感じる 自然の風景  
き み た の  
来て見てふれて 楽しさいっぱい  
あ そ さんごうちよう  
遊びにおいでよ 三郷町

## ふりむかないで 一奈良県・曾爾村一

とり                      ころ   ひびく  
鳥のさえずり   心に響く  
いくとしつき            すがた   か  
幾年月も   姿を変えて  
もり   めぐ  
森の恵みを   ささやきかける  
だいち   ちから            びょうぶ   いわ  
大地の力   屏風の岩

みず                      さわ                      そら  
水のせせらぎ   爽やかな空  
ふ                      ぬ                      かぜ                      ほなみ  
吹き抜ける風と   さざめく穂波  
お                      ゆうひ                      ころうば  
落ちる夕日に   心奪われ  
ほし                      そ                      に                      こうげん  
星がきらめく   曾爾高原よ

す                      くうき                      しぜん                      なか  
澄んだ空気と   自然の中で  
ぬくもり感じて                      ひとびとく  
ぬるべの郷の                      いにしえ                      そ                      に  
日本でも                      うつく                      むら  
最も   美しい村

## ふりむかないで 一奈良県・御杖村一

どこにあるのか                      なに                      何があるのか  
し                      なら                      ひがし  
知られていない   奈良の東  
し                      い  
知らんずくに   行かんといて  
いつぺんよって                      ぜんこく                      ひと  
全国の人

ふゆ                      やまじ                      い                      むひょう  
冬の山路に   凍てる霧氷が  
あし                      はこ  
あなたの足を   運ばせるのか  
のぼ                      みち                      さき                      ま  
登った道の   先に待つのは  
はくぎん                      みね                      み                      うねやま  
白銀の峰   三峰山

とお                      みち                      えき  
通りすがりの   道の駅で  
すれちがい                      め                      め  
目と目があった  
しごとがえ                      や                      さい  
仕事帰りで   野菜をくれた  
ころ                      み                      つ                      え                      ひと  
心やさしい   御杖の人

## ふりむかないで 一奈良県・王寺町一

だるま であ まな  
ダルマに出会い ほとけを学び  
くに  
国づくり たいへんですが  
あらし わ ころ  
争いなくす 和の心  
ふりかえらないで だるま  
ダルマさん

あすか たいしみち  
飛鳥につづく 太子道は  
くに おも あいば  
国を想い 愛馬にのって  
おともするのは 愛犬 雪丸  
あいけん ゆきまる  
おも だ わ  
思い出して 和のころ

うまやどに生まれて 名前がつけられ  
なまえ  
おさわがせしてます 名前の事で  
なまえ こと  
決まりました 聖徳太子  
しょうとくたいし  
わす しょうとくたいし  
忘れないで 聖徳太子

## ふりむかないで 一奈良県・広陵町一

いろ はな さ まち  
色とりどりの 花が咲く町  
れきし こふんのろまん  
歴史ただよう 古墳のロマン  
そら くだら とう  
天にそびえる 百済の塔も  
ゆめさそ こうりょう ひと  
夢誘う 広陵の人

ゆかり ほうせき こうりょう  
紫の宝石 広陵なすび  
こころ よ こうりょうぐら  
心も酔わせる 広陵蔵で  
ひかり そだ いのち  
太陽かがやき 育てる命  
しぜん こうりょう ひと  
自然はぐくむ 広陵の人

みどり こころ  
緑まぶしい ゆたかな心  
こ こえ  
子どもの声が ひびきわたり  
ひと まち  
人がやさしい いい町づくり  
あなたとともに こうりょう ひと  
広陵の人

## ふりむかないで —奈良県・河合町—

うまみ おか ひまわり畑  
馬見の丘の  
まんかいえがお  
満開笑顔の すてきなあなた  
もみじいろ むす ひろば  
紅葉色づく 結びの広場  
またあいたいな かわい ひと  
河合の人

やまと かわ あつ  
大和の川の 集まるどころ  
ひろせ もり すいじん  
廣瀬の森に います水神  
みんな集いて 砂かけ祭  
ほうさくねが かわい ひと  
豊作願う 河合の人

す ひとみ す  
澄んだ瞳で いたずら好きの  
ひと  
人なつくって かわいいあなた  
うし めん ふ し ぎ ちから  
牛のお面に 不思議な力  
な まる かわい ひと  
その名はすな丸 河合の人

## ふりむかないで —奈良県・大淀町—

な わら  
泣いているのか 笑っているのか  
なし すがた  
梨の姿の すてきなあなた  
ついてゆけない あの人のあと  
かき  
柿むかないで あなたは言うの

けんみん し  
県民さえも 知らないけれど  
なし すがた  
梨の姿の すてきなあなた  
ほろり涙が は  
葉っぱをつたう  
さくらの影で あなたはいるの

かき な ら ほうせき  
柿もさくらも 奈良の宝石  
あなたはそっと つぶやいた  
おな ひかり とき  
同じ光を はなつ時まで  
て ある い  
手をとりあって 歩いて行こう



## ふりむかないで 一奈良県・黒滝村一

とろげ ちゃ や ぎょうじゃ いこ  
峠の茶屋で 行者が憩う  
あ じ だい ほこ か  
在りし時代を 誇りと代えて  
こ みち き る と まど  
小径の岐路で 戸惑うときは  
よ そ くる たき ひと  
そっと寄り添う 黒滝の人

く なん と き みな の こ  
苦難の時も 皆で乗り越え  
みな も なが ほし くず  
水面を流るる 星屑ひろい  
ち え はぐく は たる み  
知恵を育み 果てる垂水よ  
しの くる たき ひと  
忍ぶあなたは 黒滝の人

も り く まち  
森林と暮らして 街へとつなぐ  
き ぎ たく おも  
木々に託した あなたの思い  
え が お い つむ たから  
笑顔で生きて 紡ぐ宝は  
こころ くる たき ひと  
心ゆかしき 黒滝の人

## ふりむかないで 一奈良県・天川村一

①あなたのあとを <sup>なが</sup>流れてきたの  
<sup>ゆき どころがわ まち</sup>雪の洞川 すてきな街ね  
<sup>こころ なさ し</sup>こごえる心に 情けが沁みる  
<sup>てんかわ</sup>どこにいるのよ 天川のひと

④もみじ街道 <sup>かいどう</sup> たそがれ時に <sup>とき</sup>  
<sup>みち まよ</sup>路に迷うは <sup>まよ</sup>こころの迷い  
<sup>みたら いばし</sup>ひとりたたずむ 御手洗橋で  
<sup>き てんかわ</sup>ここまで来たわ 天川のひと

②皐月の空に <sup>さつき そら</sup> あなたのことを  
<sup>おも う べんざいてん</sup>思い浮かべて 弁財天に  
<sup>い す ず ねが こ</sup>五十鈴のひびきに 願いを込めて  
<sup>め あ てんかわ</sup>ひと目逢いたい 天川のひと

⑤高野すずかけ <sup>こうや</sup> 不動の滝に <sup>ふどう たき</sup>  
<sup>かな こい と</sup>わたしはなにを 問いかけるのか  
<sup>わす てんかわ</sup>叶わぬ恋と わかっているも  
忘れられないわ 天川のひと

③水の流れに <sup>みず なが</sup> 釣り人たちが <sup>つ びと</sup>  
<sup>いま</sup>今のわたしに <sup>に</sup>似ているかしら  
<sup>み あ あおぞら うきぐも</sup>見上げる青空 浮雲ひとつ  
<sup>ま てんかわ</sup>待っているのよ 天川のひと

## ふりむかないで 一奈良県・川上村一

やま まごころ  
山いきさんが 真心こめて  
まも すぎやま みらい  
守る杉山 未来へつなげ  
たる はしら すがた か  
樽に柱に 姿を変えて  
く ささ かわかみ きぎ  
暮らし支える 川上の樹々

こめん み お やしろ うえ  
湖面見下ろす 社の上に  
ほし てんくう さと  
星がきらめく 天空の郷  
りゅうじんみまも げんりゅう もり  
龍神見守る 源流の森から  
いのちはぐく かわかみ みず  
命育む 川上の水

やま ゆた なが  
山の豊かさ 流れにのせて  
たはた とど うみ とど  
田畑へ届け 海まで届け  
かわ と も ひと  
川が取り持つ すべての人と  
つな かわかみ ひと  
繋がりたいな 川上の人

## ふりむかないで 一奈良県・東吉野村一

やまな せりゅう  
つづく山並み きらめく清流  
ま たき うつく ふち  
しぶき舞う滝 美しき淵  
ゆめ み しんぴ せかい  
夢に見たよな 神秘の世界  
あお やまざと ひがしよしの  
蒼い山里 東吉野へ

にほん おお かみ てんちゆう ぎし  
ニホンオオカミ 天誅の義士が  
おも ねむ しんせい さと  
思い眠らす 神聖の郷  
み き  
見えてくるかも 聞こえてくるかも  
ある ひがしよしの  
歩いてみよう 東吉野を

やま みず めぐ  
山と水とに 恵みをいただき  
はるなつあきふゆ く  
春夏秋冬 ゆったり暮らす  
えがお すてき ひと  
笑顔あふれる 素敵な人と  
みらい えが ひがしよしの  
未来を描こう 東吉野で